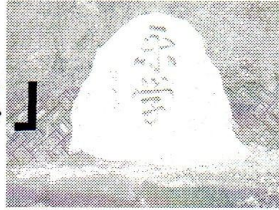


校長室より

第30号

「天空高き」



平成24年1月11日

兔から辰年へ！



東日本大震災と津波による災害、福島原発事故による放射能汚染。2011年は日本にとって大きな試練となる年でした。世界に目を向けても、おおきな変動の年でした。

エジプトに端を発したアラブの民主化運動。その原動力の一つが、インターネットやソーシャルメディアの普及だと思えます。

欧州では、2009年末にギリシャに始まった金融危機がイタリアにまで及び、ユーロの崩壊まで論じられるようになりました。そして、北朝鮮の指導者、キム総書記の突然の死去。

2012年はアメリカ、ロシア、中国等で指導者の選挙があります。またロンドンオリンピックも開催されます。政治、経済、社会面で大きな出来事が目白押しです。これからの日本を背負って立つ皆さんには、日本国内の出来事は勿論のことですが、世界にも目を大きく開いて、興味関心を持ってもらいたいと思えます。

ノーベル平和賞受賞者で、昨年亡くなったケニアの環境活動家ワンガリ・マータイさんが世界に広めた「モッタイナイ」という日本語と、東日本大震災でのお互いに「おかげさまで」という言葉は、これからの世界を動かす言葉になるのではないかと思います。

今、皆さん一人ひとりの感性、すなわち「人がどのように思っているかを感じる力」が問われています。

新しい年を迎えました。今年は辰年です。龍のように天に向かって昇ることは、希望や夢に向かって頑張ることにつながり、勇気、強い心と体を鍛えるのにぴったりです。また、「立つ」の年で、「立つ」は「自立」にも通じます。明るく前向きに生きること、頑張れる。頑張れば夢が叶う、良い年になります。一日一日を大切に全力投球しましょう！

ある小学6年生の作文がある。

「僕の夢は一流のプロ野球選手になることです。そのためには中学、高校と全国大会に出て活躍しなければなりません。活躍できるようになるためには練習が必要です。

僕は三歳の時から練習を始めています。三歳から七歳までは半年くらいやっていましたが、三年生の時から今までは三百六十五日中三百六十日は激しい練習をやっています。だから、一週間中で友達と遊べる時間は五、六時間です。そんなに練習をやっているのだから、必ずプロ野球の選手になれると思います。そして、その球団は中日ドラゴンズか、西武ライオンズです。ドラフト入団で契約金は一億円以上が目標です。僕が自信のあるのは投手か打撃です。

去年の夏、僕たちは全国大会に行きました。そして、ほとんどの投手を見てきましたが自分が大会ナンバーワン選手と確信でき、打撃では県大会四試合のうちホームランを三本打ちました。そして、全体を通した打率は五割八分三厘でした。

このように納得のいく成績でした。そして、僕たちは一年間負け知らずで野球ができました。だから、この調子でこれからもがんばります。

そして、僕が一流になって試合に出られるようになったら、

お世話になった人に招待券を配って応援してもらうのも夢の一つです。とにかく一番大きな夢は野球選手になることです」

作者は愛知県西春日井郡豊山小学校六年二組 鈴木一郎。

賢明な読者にはすでにおわかりだろう。いまをときめく大リーガー、イチローの子ども時代の作文である。

イチローの資質は特別、いわば天才という。その通りだろう。しかし、この作文が夢を実現する上で大事なものは何かを語っていることも事実である。

まず、第一に自分の夢に対していささかも迷いが無い。夢を素直に信じている。つまり夢に対して本気、本腰である。

次に、自らの夢に対して代償を進んで支払おうとする気持ちが強い。三百六十五日中三百六十日激しい練習。友達と遊ぶのは一週間で五、六時間という。そう言い切る言葉に少しの悔いも未練もない。

「夢をみることは重荷を背負うことだ」と松下幸之助氏は言ったそうだが、そのことをすでに体得している感がある。

そして最後に、
お世話になった人に対して報いる
という報恩の心を持っている。

夢を持ち、
その夢を実現すべく燃えることができるのは、

全生物の中でも
人間だけである。
天から授かったこの能力を
フルに発揮する人生を送りたいものである。

出典「心に響く小さな五つのものがたり」

科学の甲子園山口県大会（山口県代表決定戦）を セミナーパークで実施しました

12月10日（土）に、平成24年3月に行われる科学の甲子園全国大会（兵庫県で開催）への出場権をかけた「科学の甲子園山口県大会（山口県代表決定戦）」がセミナーパークで実施されました。

11月13日（日）に行われた予選会（県内の高等学校と高等専門学校を合わせた10校15チームで開催）で同点一位となった、山口県立宇部高等学校Aチームと高水高等学校Aチームの両チームが、筆記試験と総合競技を行い、お互いの力を競い合いました。

筆記試験では、理科の各分野（物理、化学、生物、地学）から思考力を問う問題が出題され、総合競技では、知識を活用した実技を伴う競技が行われました。各校とも抜群のチームワークと発想力で熱心に取り組み、大いに盛り上がりました。

結果は、わずかな差で山口県立宇部高等学校Aチームの勝利となり、全国大会に出場が決められました。



センター試験に臨む受験生にとりましては、これからが追い込みの時期です。健康に留意して万全の態勢でその日を迎えられるよう期待します。

センター試験に臨む諸君へ「睡眠時間6時間と自学6時間を確保することが大切！」

就職を希望する諸君へ！

毎年、就職が難しくなっています。山口県内では就職希望者に対して求人数が下回っています。8月の有効求人倍率（季節調整値）は、0.74倍です。100人の就職希望者に対して74人は就職できますが、26人は就職を希望してもできないということです。しかも自分の希望する職種はなかなか選べません。

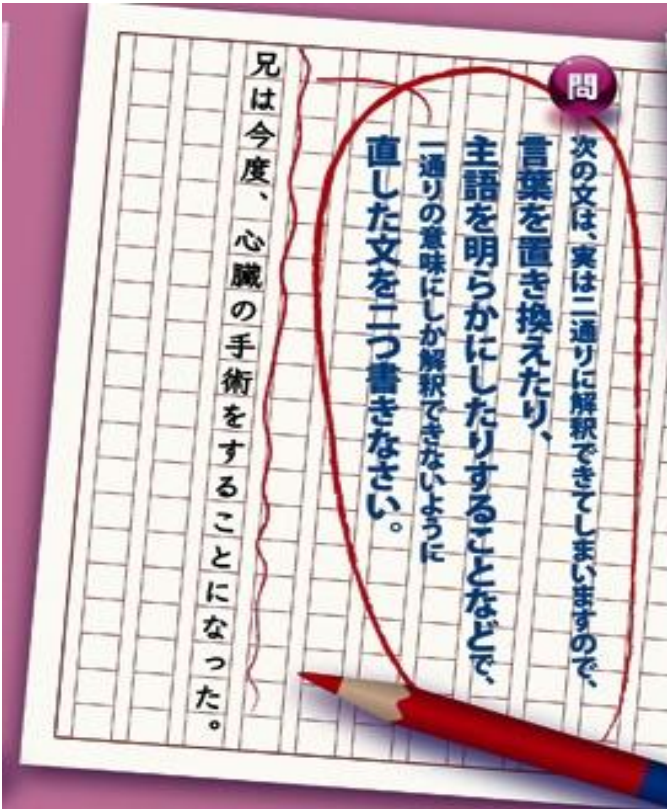
このような厳しい状況の中でも、希望する職種に就職することの出来る生徒がいます。そのような生徒はいったい高校時代をどのように過ごしたのでしょうか。

普通科の目標は「規律ある生活、充実した授業」ですが、それを実践した生徒です。

具体的に説明します。規律ある生活とは①自分で朝起きられる②明るく元気な挨拶ができる③遅刻、欠席が少ない④正しく制服を着こなしている⑤清掃活動やボランティア活動に意欲的に取り組んでいる⑥毎日家の手伝いをしている⑦規則正しい食事を取っている
充実した授業とは①授業態度が真面目である②宿題や忘れ物がない③クラブ活動に積極的に取り組んでいる④家庭学習が定着している

そのような生徒とは、当たり前のことを当たり前毎日行っている生徒です。

□いアタマを○へする



[解答例]

(一つめ)

外科医の兄は、今度心臓の手術をすることになった。

兄は今度、患者の心臓の手術をすることになった。

(二つめ)

心臓の具合の悪い兄は、今度心臓の手術をすることになった。

兄は今度、心臓の手術を受けることになった。

[解説]

まず、「兄は今度、心臓の手術をすることになった」という文が、どのような二通りに読めるのかについて考えます。すると、「心臓の手術をする」という言い方は、「自分が患者として手術を受ける」という意味にも、「自分が医師として心臓の手術をする」という意味にも解釈できます。それぞれの意味が明らかになるように、言葉を補ったり、置き換えたりしていきます。

冬の日にはひとのこころを温むる 梅の花にはなれないだろか 柳 宣宏

